

東栗と福岡

令和5年 10月



八女茶



八女茶発祥600年、伝統を継承する。

八女市

醸造家の夢、時を超えて現代に甦る。



朝倉

あさくら

味と薫りをそのままに、
檜樽熟成『朝倉』

今をさかのぼること100年以上も昔、「アドレナリン」の抽出結晶化に成功したことで「バイオテクノロジーの父」としてアメリカでも著名な高峰謙吉博士。アメリカに渡った博士は、ウイスキー醸造にあたり「モルト」でなく日本の「麴」を使用する方法を実用化しようと考えました。そのおしな、効率性には、アメリカの醸造家も関心を寄せていたようですが、結局アメリカの地に「麴」を使用したウイスキー造りが根付くことはありませんでした。

そして、現代。私たちが造る「麴」を使用した檜樽熟成酒は、まさに博士の意志を継ぐものといえます。8年以上熟成した、樽から採って出しの、あの醗酵とした香気を極力損なわずに味わつていただきたいとの想いから、「朝倉」はあえてリキュールというカテゴリーでお出ししています。



リキュール『朝倉』



●商品の詳細についてのお問い合わせ

福岡あさくらの老舗蔵元 株式会社 篠崎

〒838-1303 福岡朝倉市千蔵185 ☎0946(52)0005

●商品のご注文はこちらまで

蔵元直売店「千の蔵」

☎0120(531)699 FAX 0946(52)1699

※お酒は20歳になってから。※妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。
※飲みすぎには十分注意してください。※飲酒運転は法律で禁止されています。

高校よせがきノートの店
新橋

有薫酒蔵

ゆうくんさくら

高校よせがきノート(新橋の居酒屋ノート)を
はじめたのは1987年7月4日、
2022年に3267冊になりました。
できるだけ長く続けたいと思っています。

新橋有薫ホームページ

<http://www.shinbashi-yukun.com>

高校よせがきノート ホームページ

<http://koukou-yosegaki.com>

松永洋子ブログ “おかみの日々徒然”

<http://blog.shinbashi-yukun.com>

東京都港区新橋1-16-4 リソな銀行地階

03-3508-9296

休業日 日曜・祝日・月曜

有明海・玄海の珍しい魚介類を毎日空輸。
九州の産品にこだわって、
数々のメニューでおもてなし、
家庭的雰囲気の中、親子で皆様のお越しを
お待ちしております。

九州郷土料理

赤坂 有薫

AKASAKA YUKUN

〒100-0014

東京都千代田区永田町 2-14-3 東急プラザ赤坂 3F

電話 03 (3592) 0393 (代)

店主 高山喜一郎 (昭42年 明善高校卒)

<http://www.akasakayukun.com>

E-mail yu-kun@dmil.plala.or.jp

北京有薫「一心」

五道口店・北京師範大店・経貿店・建外店も宜しく

郷土の先達

(題字 山本卓眞元会長筆)

河野昭修は、一九三〇(昭和五)年八月二十二日に福岡市で生まれた。戦後の旧制中学から新制高校へ移行の時代に、修猷館高等学校野球部のエースで四番打者、そして主将を務めた。甲子園を目指したが、最強のライバル小倉高校には、甲子園で二連覇の偉業を成し遂げた福岡一雄と原勝彦のバッテリーがあり、不運にもその道は阻まれた。

その後早稲田大学野球部に進んだものの、外国航路の船乗りであった父が、戦後外地に抑留され、学費が途絶えたので中退。帰郷し西日本鉄道本社に職員として入社後、ノンプロ西鉄のメンバーとなった。一九五〇(昭和二十五)年、プロ野球が二リーグ制となり、福岡をフランチャイズとして、セントラルリーグでは西日本パイレーツが、パシフィックリーグでは西鉄クリッパースが誕生。翌年、両球団は合併してパシフィックに属し、名を西鉄ライオンズと改めた。



河野は西鉄クリッパースを経て、西鉄ライオンズに入団し三塁手となった。一九五〇年代後半、福岡城跡にあった平和台球場に足を運んだ人は、地元チームに向けられたあの熱狂的な大声援を

185

河野昭修

—西鉄ライオンズ全盛時代の名ファースト—

思い出すだろう。今や伝説ともなった西鉄ライオンズ。野武士軍団ともいわれ、選手達の飲み代で、天神町にビルが二棟建ったのではとさえいわれる破天荒な選手たちであった。

球団誕生から三年後に、名将・知将とうたわれ「遠心力野球」を掲げた三原脩監督のもと、宿敵南海ホークスを倒して念願のリーグ初優勝。ライオンズ黄金時代の幕開けであった。当時のファンの眼に焼き付いている一シーンは、ショート豊田からセカンド仰木を経てボールが素早くファースト河野に送られる、見事な六・四・三の併殺プレーではなからうか。

ライオンズ最盛期ともいわれる一九五七(昭和三十三年)年の不動のラインナップは、一番センター高倉、二番ショート豊田、三番サード中西、四番ライト大下、五番レフト関口、六番ファースト河野、七番セカンド仰木、八番キャッチャー和田、九番ピッチャーは「神様・仏様・稲尾様」が流行語ともなった鉄腕稲尾。

背番号九の河野は、サード、ショート、セカンドとダイヤモンドを右回りに回ってファーストに行き着いた、当時二十四歳のユートイリテイープレイヤー。チームでは豊田・中西らの若手と、大下などのベテランの中間に位置する貴重な存在だった。河野のあだ名は「蠅取紙」。少々の悪送球はファーストミットに吸い取るように捕ってしまふところから来た名だ。百道の練習場でピッチングマシンを使い、

足もとに砂利を敷いて、イレギュラーバウンドを捕る練習を繰り返した。球場によって土質や硬軟が異なるので、すべてを頭に入れてゲームに臨んだ。精進の結果、リーグ随一の一塁手と言われるようになった。

一九五六年から三年連続で、日本シリーズで巨人を倒し、日本一に輝いた西鉄ライオンズ黄金時代のペナントレースにおける最多出場選手は河野であった。八年間の打者としての通算成績は二割四分三厘、最高の年は一五三試合に出場した一九五六年の二割七分。高打率ではないが河野の真骨頂は勝負強さであった。

日本シリーズ二連覇目の巨人との第二戦目、九回裏の攻撃。一対一で巨人のピッチャーは、エース藤田。二死者一・二塁で打席に立った河野は、ワンボール・ツーストライクと追い込まれたが、外角高めの球に飛びつくように打ち返しライト前ヒット。二塁ランナーが生還して二対一でサヨナラ勝ち。勢いに乗ったライオンズは、四勝一分けの無敗で宿敵巨人を再び倒すことができた。

河野はオールスターゲームにも出場し、犠打リリーグ一位の記録も残したが、二十九歳で現役を引退。コーチ、ファームの監督として十年にわたり後進の育成後、一九六九(昭和四十四)年にユニフォームを脱いだ。その後地元のパートで業務に励んだこともあったが、二〇一一(平成二十三)年八月八日に逝去。享年八十歳。

参考資料 『獅子たちの曳光 西鉄ライオンズ銘々

伝』(赤瀬川隼著・文春文庫)

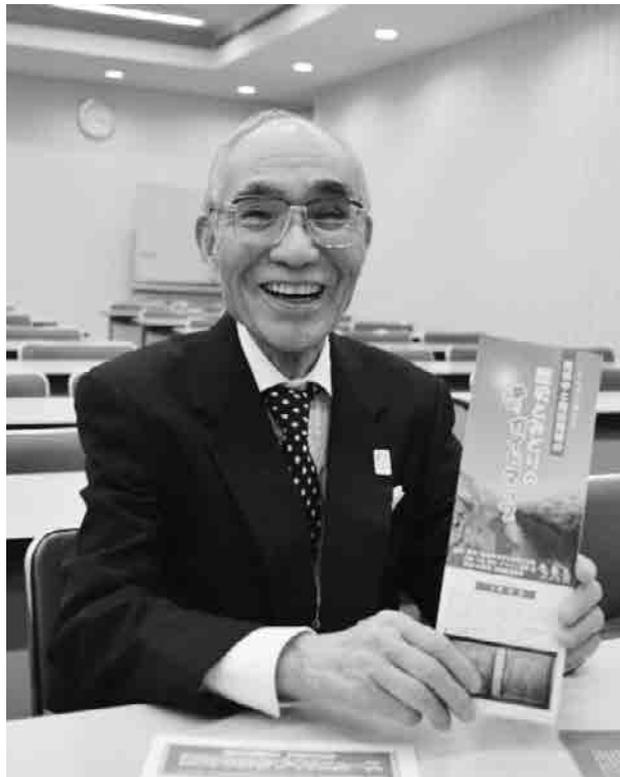
写真提供 (株)西日本新聞社

執筆者 牛島 康明(編集委員長)

地域活動に生き甲斐を感じ、
米寿を迎える

PROFILE

- 1935年 柳川市三橋町生まれ
- 1948年 柳川市立二ツ河小学校卒業
- 1951年 柳川市立三橋中学校卒業
- 1954年 福岡県立伝習館高等学校卒業
- 1964年 福岡大学卒業
- 1972年 フクニチ新聞退職
- 1989年 十八世紀音楽祭協会世話人
- 1993年 東京福岡県人会入会
- 1995年 大末建設株式会社定年退職
- 1996年 NPO練馬まちづくりの会理事
- 2002年 石神井まちづくりの会代表
- 2003年 NPOウエルカム石神井公園
- 2009年 南田中のまちを考える会代表
- 2010年 NSNねりまシニアネット役員
- 2010年 ねりまシニアネット楽友会会長
- 2013年 柳川観光大使就任、現在に至る



柳川で五男として生まれる

広大な筑後平野ののどかな農村地帯、山門郡三橋町（現柳川市）で、一九三五（昭和十）年に生まれました。小さい頃の楽しみは、近くの二ツ川で泳ぐことでした。

戦時中、近隣の久留米市や大牟田市は戦災に遭いました。柳川市も田舎でありながら、いつも空襲警報が鳴り響き、とても怖い思いをしました。一九四五年、第二次世界大戦が終戦。尋常小学四年のときでした。

それから朝鮮南北戦争が起こり、それにより朝鮮戦争特需がもたらされます。その流れで、昭和三十〜四十年代後半にわたり、日本は高度経済成長時代に突入。そのような時期に学生時代を過ごしていました。

地元志向だった高校・大学時代

柳川育ちのため、高校は藩校・伝習館高校（今年創立一〇〇周年）、大学は、親が自宅から通うことを条件にしていたため、福岡大学に通いました。大学では新聞部に籍を置き、自治会や学友会などで活動しました。

この時代の福岡は、プロ野球「西鉄ライオンズ」の黄金時代。知将・三原脩監督を筆頭に河野、大下、中西、豊田、稲尾、高倉などの選手たちを擁し、宿敵「読売ジャイアンツ」を下し、日本シリーズを三連覇しました。

今もそうでしょうが、九州のプロ野球ファンは熱狂的でした。

新聞部の経験からマスコミへ

学生時代の経験を活かして、初めての就職はマスコミ業界（フクニチ新聞）で、十六年間働きました。そのころのフクニチ新聞は夕刊専門紙で、発行部数は十数万部。また、フクニチスポーツも、西鉄ライオンズが強かったこともあり、福岡、佐賀、長崎、熊本などの西日本地域で飛ぶように売れていました。日本シリーズのころには二十万部を超えたこともありました。

しかし、一九六五年、読売新聞の九州進出とテレビ新時代の訪れで経営不振が始まりました。一九四六年四月に創刊され、好評を博していたフクニチ新聞も、残念ながら一九七九年に本紙、スポーツ紙ともに廃刊。三十三年の歴史に幕を下ろしました。

マスコミからゼネコンへ異例の転身

フクニチ新聞が廃刊する数年前、縁があつて、一部上場のゼネコン（大末建設）に転職。当時、転職する人は極めて少なかったのですが、人生は一度きりと、思い切ることに。友人からは「マスコミからゼネコンへの華麗な転職」と言われました。

しかし、世の中そんなに甘いものはありません。企画力が問われる、慣

れない仕事は次々と飛び込んできました。それを乗り越えていくのはとても大変でしたが、お陰様で健康で楽しく仕事に従事することができました。

在職中から始めたボランティア活動

在職中の一九八九年から「福岡十八世紀音楽祭協会」の世話人として、初めてボランティア活動をスタート。

最初は、天神の福銀大ホールで三夜連続の『古楽コンサート』を行ない、大盛況でした。その後は、熊本県小国町と一緒に、海外の演奏家を招いて、悠木の里『おぐに古楽音楽祭』を、木魂館や町内あちこちの会場で四日間にわたり開催。それらを九年間続けました。しかし、私たち世話人の高齢化もあり、開催場所を福岡市に移して十年以上行いましたが、これが私のボランティア活動の原点です。

東京へ転動後は「福岡十八世紀音楽祭協会」東京支部長として『古楽コンサート』のお世話をしてきました。

福岡県人会に入会したきっかけ

現役時代、新聞ゼミなどで東京にはよく来ていましたが、四十代まではほぼ福岡勤務でした。ところが五十代で初めて本社営業本部勤務を命じられ、東京へ赴任。そのときに東京藝大大学院在学中だった娘から勧められて、東京福岡県人会に入会しました。早いもので、既に三十年が経ちます。

定年退職を迎える

六十歳定年まで、ゼネコンで無事勤め上げることができました。世の中の方々に感謝したい一念です。

定年時の平成七年は、阪神・淡路大震災と、オウム事件が大きく報道された年。これらの事件は、私の脳裏から消えることはありません。

退職後は地域活動（ボランティア）三昧

定年退職後は、自分たちが住む街を少しでも良くしようという考えから、

地元へ回帰。まちづくり活動として、

- ・ NPO練馬まちづくりの会
 - ・ 石神井まちづくりの会
 - ・ NPO福祉サロンウェルカム石神井公園
 - ・ 南田中のまちを考える会
 - ・ ねりまシニアネットワーク音楽友会
 - ・ 練馬シャンソン教室&練馬ジャズ教室
- などを主宰。今もいくつもの代表として地域活動を続けています。

セカンドライフは

地域情報紙編集に生き甲斐

中でも、石神井まちづくりの会では、西武池袋線の「練馬高野台駅から大泉学園駅までの連続立体交差事業計画」委員に、一般市民代表として参加。

その他に、このほど創刊二十周年を迎えた地域情報紙『かるがも便り』の取材、編集、配布に従事。春夏秋冬の年四回発行を続け、すでに八十五号を数えています。二十年余り継続してきたことはとても大変でしたが、私の生き甲斐となっています。

南田中のまちを考える会では、著名な講師陣を迎えて『練馬まちづくり歴史と文化講座』を六月に開催。こちらも二十二回続けています。

これらを、八十八歳の米寿になっても続けられることは、自分自身の健康管理の賜物、そして皆さまのご協力のお陰と深く感謝しています。

柳川観光大使について

二〇一三（平成二十五）年、柳川市の金子健次市長から『柳川観光大使』就任の要請を受けました。

「観光大使には、詩聖・北原白秋の詩歌の母体となった詩情あふれる水郷柳川を、より多くの皆様知っていただくための役をお願いする」というもの。「有名人でもない私がどうして？」と驚きました。おそらく、マスコミにいた経験と、大都市東京で地域活動を積極的に行っていることが評価されたのにしました。

もっと多くの方々に、観光都市としての柳川を訪れていただくにはどうしたらいいか。市長をはじめ、市役所の方々、また二十九名の観光大使とも交流を図りながら、検討を続けています。その一環として、柳川市では現在、二〇二五年三月完成を目指す、西鉄柳川駅前から直接乗船ができる川下り掘削工事が行われています。

『ねりまシニアライフ講座』開催

来る十月十五日（日）、練馬区石神井庁舎において『ねりまシニアライフ講座』（NSN楽友会主催）を開催します。練馬区内外のシニアを対象に、私が講師を務めます。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

インタビュー 大隈 勝也（県人会理事）



「かるがも便り」創刊20周年特別記念号



金子市長と柳川観光大使就任式にて



しもぞの ひろや
下園 博也
(鹿児島市)

福岡の「食」の魅力

この四月から福岡市東京事務所に着任し、本会報誌の編集委員を担当することになりました下園と申します。よろしくお願ひいたします。

生まれは鹿児島で高校卒業までの十八年間を過ごし、大学進学を機に福岡に移住、今年の三月で福岡生活も十四年が経ちました。ようやく「鹿児島よりも福岡での生活の方が長くなりそうだ」と考えていたところ、まさかの人生で初めての東京生活を送ることとなりました。

さて、私は現在、シテイセールスを担当しており、在京の企業様を福岡市に誘致するための活動をしており、各種イベントなどで福岡市をPRしたりしています。

そのような活動の中で、やはり福岡という「食」が魅力的という声を多くいただきます。ラーメン、水炊き、もつ鍋、明太子、焼き鳥など、食べ物がおいしいのはもちろん、リーズナブルであるというのは、ま

さに福岡の魅力の一つであると思っています。

また、福岡の食文化を語る上では、やはり屋台も外せません。長浜地区では今年、七軒の新規屋台が誕生し、これまでの二軒と合わせて、遂に長浜の屋台街が復活しました。ラーメンや焼き鳥、おでん等の定番メニューのほか、屋台では初めての明太子料理専門店や、本場の中国料理「ガチ中華」、野球をコンセプトにした店など、個性があふれたものとなっています。

また、屋台の特設サイトや屋台LINE公式アカウントを開設するなど、長浜屋台街を中心に「屋台DX」の取組みもスタートしています。観光資源でもあり、市民の憩いの場でもある屋台を、より楽しくご利用いただけるようになっていきます。福岡にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

最後になりましたが、東京福岡県人会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

福岡市東京事務所 調整係長



屋台 LINE公式アカウント
[FUKUOKA GUIDE]



あのひとこのひと No.201



くにまつ しんいち
國松 伸一
(田川市)

つなぐ

田川市出身の國松伸一と申します、昨年七月から東京勤務が四回目(通算十一年目)となります。

私は昭和六十年に日本電信電話(株)入社後は、分社した(株)NTTファシリティーズに勤務しました。業務は電気通信事業を支える電気の仕事でした。日頃は設備構築やメンテナンスを、そして、自然災害時等にはNTTビルへの電源給電等の対応を行い、皆様が通信サービスを利用できるよう維持する業務です。

その中で一番印象に残っている業務は、平成二十三年、東日本大震災により、機能が停止していた、NTT東日本磐城富岡ビル復旧作戦に参加したことです。ビルは避難指示区域内にあり、放射線量が高く、作業制限時間もたったの四時間。その中でNTTグループ管理者にて設備を復旧させ、富岡エリアの避難指示区域外の皆様にサービスを利用いただくための作業でした。最初に私たち

で割当時間内に電気通信設備に電源給電を開始し、その後は通信設備を他のメンバーが復旧しました。

入社以来の先人たちの教えは、通信をつないでいくことであり、それが私たちの使命。磐城富岡ビルの作業では、途絶えた通信を復旧させ、つなぎ続けるといふその責務を果たすことができました。それはひとえに、多くの関係者の皆様や家族の支援のおかげだと、今でもとても感謝しております。

現在は、NTTアノードエナジー(株)にて電気通信事業ではなく、系統用蓄電所の構築の業務を担っています。今年、完成し運用しているのが「福岡田川蓄電所」(田川郡春春町)です。地元で仕事ができたこと、また関係者に田川の歴史(石炭記念公園、石炭・歴史博物館、風治八幡宮等)やグルメ(ホルモン焼、ラーメン等)をお伝えできたことで、少しは故郷の役に立てたかなと思っております。

東京福岡県人会には今年から入会させていただきました。どうぞよろしくお願ひいたします。



たがたん

総 合

県政だより

いよいよフィナーレ！第77回全国お茶まつり福岡大会
～八女茶発祥600年～

8月から県内各地で茶品評会や審査技術競技会などが行われている第77回全国お茶まつり福岡大会。フィナーレとして、10月に福岡市と北九州市で茶消費拡大イベントを開催する。

福岡会場では日本茶インストラクターによる茶の提供や八女茶スイーツなどのイートイン、北九州会場では茶会(玉露の呈茶、立札席による抹茶の呈茶)、また、両会場共通で茶や地域の農産物の販売、移動式茶室の展示を実施。八女茶発祥600年記念の年に八女茶の魅力を余すところなくPRする。

全国お茶まつりは昭和38年から毎年開催され、福岡県での開催は平成17年度の第59回以来18年ぶり。

【開催日】令和5年10月28日(土)、29日(日)

【福岡会場】

福岡大名ガーデンシティ、
大濠テラス

【北九州会場】

小倉城庭園、
リバーウォーク北九州

【同時開催】

八女茶発祥600年祭
べんがら村八女茶マルシェ
(八女市)



イベントについて
詳細はこちら



ホームページはこちら ▶

《問い合わせ先》

福岡県農林水産部園芸振興課
TEL: 092-643-3489

以下9ページまでの記事は西日本新聞社のご厚意により許可を得て転載しています。9月7日までの記事から抜粋。

福岡県が久留米市、朝倉市、東峰村に職員派遣
記録的大雨

7月の記録的大雨を受け、福岡県は9月1日から甚大な被害が発生した久留米、朝倉両市と東峰村に職員計6人を派遣した。被災した道路や河川、農業用施設の復旧に携わっている。派遣期間は来年3月末まで。

8月31日に県庁で辞令交付式があり、服部誠太郎知事は「県の業務で培った経験を発揮してほしい」とあいさつ。朝倉市へ向かう福岡農林事務所の高木

勝浩さん(49)は「被災地の平穏が一日も早く戻るよう尽力したい」と話した。

障害者の就労支援へ書籍デジタル化拠点
福岡県が北九州・戸畑に3カ所目

福岡県は、障害のある人たちが書籍や書類などのデジタル化の作業に携わる就労支援の場を、北九州市戸畑区沖台の多機能型事業所「インクルとばた」内に開設した。県内で3カ所目。複数の施設から参加者を集めて大量処理できる仕組みを作り、工賃の引き上げも図る。

個人情報を含む書類や貴重な書籍を管理するため、保管庫は耐火仕様とし、防犯カメラも設置する。高性能スキャナーがあり、大型図面やマイクロフィルムなど多様な資料に対応できる。約1億円の設備費用は日本財団(東京)が支援した。

参加者はそれぞれの特性に応じて、付箋やクリップを外す下準備、スキャン、目次入力などを分業する。画像検査をしていた南里光一さん(23)＝同市小倉北区＝は「写真の向きが逆になったり、紙が折れたりしていないか調べます。最初はどきどきしたけど楽しいです」と話した。

当面は市内3施設の24人が、県の公文書のデジタル化に当たる。

福岡を旅しつつ仕事 移住者増へ
「くらしごと体験」県が事業スタート

福岡県内を旅して仕事をしながら移住の参考にする。同県は8月から、移住希望者に県内での仕事と暮らしを短期間味わってもらう「福岡くらしごと体験」事業を始めた。県内では福岡市など都市近郊が移住先として人気だが、他の市町村にも移住者を増やす狙いで、県が支援に本腰を入れる。

旅行会社「仕事旅行社」(東京)への委託事業。現在募集中の体験は、染め物作業(直方市)▽廃校を活用した交流施設での飲食業(田川市)▽クラフトビールの醸造(柳川市)▽パクチャー農家(糸島市)などと幅広い。今年中に50団体まで体験先を増やす。

プログラムは2泊3日や3泊4日で、参加費無料。交通費は自己負担だが、宿泊代は1泊当たり3千～5千円補助する。県外在住で、福岡への移住や就職に興味がある人が対象。事業費は900万円弱で、数十人を受け入れる見込み。

九州では、福岡県以外は転出者が転入者を上回る傾向が続く。移住支援に力を入れてきた。福岡県も「県内60市町村の魅力を知ってほしい」としている。

北九州地区

テコンドー全国連覇を支えた父の教え 北九州・広徳中3年の森松倅生選手

広徳中（北九州市小倉南区）3年の森松倅生選手（15）が、7月のテコンドーの全国大会で2年連続日本一に輝いた。連覇を支えるのは、師範でもある父裕也さん（49）が指導する「考えるテコンドー」の実践だ。目標達成に何が必要か、弱点はないか。父との対話を通して自ら考え、練習に取り入れる。未来の目標は「ロサンゼルス五輪で金」。5年後の世界を見据え、ストイックにスタミナ強化中だ。

9月4日午後、倅生選手と裕也さんは北九州市役所を訪問し、武内和久市長に優勝を報告した。そこで披露したのは、180センチの長身から繰り出す蹴り技「かかと落とし」。武内市長はあまりの威力に目を見開き「北九州の誇りです」とたたえた。

「1人でも多く救いたい」救助技術を共有 北九州市と下関市の消防局が合同訓練

北九州市消防局と山口県下関市消防局は、消防訓練研修センター（小倉北区）で、大規模災害に備えて救助技術を共有し、連携を深めるための合同訓練を行った。

関東大震災のような都市部での大地震を想定し、高い場所に取り残された人をロープを使って救出する「ロープレスキュー」や、倒壊したコンクリートをチェーンソーで切断する「ブリーチング」など4種類の訓練を実施。高い救助技術を持ち、海外での大規模災害時に派遣される国際消防救助隊（IRT）に登録された両消防局の隊員ら35人ほどが参加した。

北九州市「まつり八幡東」6年ぶり区内の山笠集結 市民や観光客から歓声

北九州市制60周年を記念した八幡東区の祭り「まつり八幡東」が9月2日、同区の大型複合施設ジ・アウトレット北九州の駐車場で開かれた。旧八幡市誕生100周年を記念した2017年以来3回目の開催で、区内の四つの祭りに登場する計7基の山笠が集結。6年ぶりのそろい踏み、市民や観光客から歓声が上がった。

四つの祭りは枝光祇園、茶屋町祇園、中央祇園、前田祇園。それぞれ戦国武将などを題材にしたきらびやかな山笠が観客の目を引いた。

夕方からは、山笠が連なって運行する競演会もあった。会場には出店が並び、特設ステージでは歌や踊りも披露され、終日にぎわった。

高倉健さんゆかりの地を守る二つの「ファンの会」 中間市と北九州市八幡西区香月地区

日本を代表する映画スターだった俳優高倉健さん（享年83）の出身地・中間市と、幼少期を過ごした隣接地の八幡西区香月地区で、地元有志がそれぞれ「ファンの会」を作り、ゆかりの地を守る地道な活動を続けている。2014年11月に亡くなって今年で9年。ゆかりの地には国内外から多くのファンが今も訪れ、名所にもなっている。

国内最大のコンテナ船「かいふ」就航 北九州市と日本海側の港結ぶ

北九州市と日本海側の港を結ぶ航路に、国内を運航するコンテナ船としては最大の新造船「かいふ」（9662ト）が就航した。トラック運転手の残業規制強化で輸送力低下が懸念される「2024年問題」を商機と捉え、海運会社「井本商運」（神戸市）が投入。物流を成長戦略の一つに位置づける北九州市は、港湾貨物取扱量の増加につながると期待を寄せている。

かいふは全長約142メートル。最大積載量は20フィートコンテナ1096個分で、従来の同社コンテナ船の2.5倍に相当する。物流業界では運転手の労働環境改善や脱炭素化に向け、トラック貨物を海運や鉄道輸送に転換する動きが加速しており、同社は貨物量増加を見越して導入した。

北九州市は港湾や空港、高速道路といった陸海空の交通インフラの充実を生かし、物流による経済活性化を目指している。市が直営する同ターミナルで取り扱う貨物の容量には余裕があり、企業の利用促進を図っている。

カレー食べて「赤い羽根募金」に寄付 北九州・皿倉山のレストラン

皿倉山展望台（北九州市八幡東区）でレストラン「天宮」を運営する新九協同（戸畑区）は、県共同募金会八幡東区支会との間で、赤い羽根共同募金に協力する覚書を交わした。看板メニューであるカレーの「天宮セット」（1200円）を注文すると、1食につき30円が募金に充てられる。

天宮セットは、キーマカレーを基に、皿倉山の風景を模して盛り付けたメニューで、味だけでなく見た目も楽しめる。

覚書は、募金会が企業と連携して寄付付き商品を企画する「募金百貨店プロジェクト」の一環。寄付金は、主に各支会内の福祉活動の支援に使われる。プロジェクトへの参加は、八幡東区では初めてとなった。

福岡地区

筑前町の「みなみの里」15年目の進化 500円朝食など工夫重ね、年間来場客100万人に

筑前町三並の農産物直売所「ファーマーズマーケットみなみの里」開業15年目を記念した式典が8月23日、コスモスプラザ（同町篠隈）であった。2009年4月のオープン当初は幹線道路から離れた場所で、出荷者も少なく苦戦したが、年間来場客100万人、売上高8億円を超えるまでに成長。関係者は「さらなる進化」を確認し合った。

みなみの里は、新鮮な地元産農産物にこだわり、かまどで炊いて提供するご飯のおいしさも口コミで広がって徐々に客足が増加。新型コロナウイルス禍でも、500円朝食を始めるといった営業努力を重ねた。20年4月には、情報発信施設や24時間利用可能な駐車場といった「道の駅」の機能が拡充され、利便性も高まった。

現在の地元出荷者はスタート時の3倍超の450人となり、四季折々の約50種類の野菜を提供。パートを含めた従業員は約60人で、地元の貴重な雇用の場ともなっている。

大野城市の「心のふるさと館」 来館者40万人突破

大野城市曙町の市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」の来館者が8月31日、40万人を超えた。40万人目となった市内の西村俊子さん（39）と長女で小学5年の美羽さん（10）、長男の同1年の脩吾さん（7）、母親の青柳美和子さん（68）＝福岡市＝に井本宗司市長が認定証を贈った。

同館はこの7月に開館5周年を迎えたばかり。開館1年で来館者は10万人を超えたがその後、コロナ禍のために客足が鈍っていた。中でも、太宰府天満宮の「翰苑」（平安時代に書かれた唐文書の写本）のような身近な国宝を展示するなど、知恵を絞ってきた。

筑紫野市出身のレスリング選手尾西さん 高校総体など国内外3大会で優勝 ロス五輪視野

筑紫野市出身のレスリング選手、尾西桜さん（17）＝埼玉栄高3年＝がこの夏、全国高校総体（インターハイ、北海道）、U17世界選手権（トルコ）、東アジアユース（モンゴル）の3大会で優勝した。2028年のロサンゼルス五輪出場を視野に、さらなる高みを目指す。

尾西さんは二日市東小の卒業生。兄の影響で3歳から競技を始め、筑前町のジムに通った。高校の強豪・埼玉栄に進学し、現在はレスリング部の女子主

将を務める。階級は53^キ級。8月28日に同市の平井一三市長と面会し、三つの金メダルを披露した。

昨年、初出場した世界選手権で準優勝となり、今大会で雪辱を果たした。尾西さんは「昨年は他の選手や会場に圧倒され、緊張した。負けた経験を生かし『前に出て攻める』意識で練習した成果を出せた」と大会を振り返った。

尾西さんは、スポーツに取り組む地元の子どもへのメッセージを求められ「謙虚さ、素直な心、感謝の気持ちの三つを大切にすることです」と話していた。

福岡市が発達障害児受け入れ施設を5倍に 26年度までに

福岡市は、就学前の発達障害の子どもたちを小規模な施設で受け入れる「児童発達支援事業所」を、2026年度までに計29カ所に増やす方針を固めたことが8月30日、分かった。現行のモデル事業を進める6カ所から約5倍となる。発達障害と診断される子どもたちが増えていることから「受け皿」を大幅に拡大する。

児童発達支援事業所は、発達障害と診断された就学前の子どもを対象に、集団生活への適応訓練などを行う施設。保育園や幼稚園に通いながら、希望する日だけ利用できる。

市によると、発達障害と診断される子どもは18年度の千人から、22年度には1290人まで増えている。

こうした発達障害児の「受け皿」が不足していたことから、市は22年度にモデル事業として2カ所を設置。23年度中に計6カ所まで増やす計画を進めていたが、利用者側のニーズが高いと判断し、本格整備に乗り出すことにした。24～26年度の3カ年で新たに23カ所を増設する予定。

中洲の大洋映画劇場、取り壊しへ 来年3月末まで営業、再開は「未定」

福岡中洲大洋映画劇場（福岡市）は9月1日、現在の劇場の営業を来年3月末で終了し、建物を取り壊すと発表した。同劇場は1946年に開館し、現在は4スクリーンある。鉄筋コンクリート造4階建ての建物は52年の完成で、築70年を超えて老朽化したため、取り壊しを決めたという。更地にした後の再開については「未定」としている。

かつて福岡市・中洲地区には多くの映画館が立ち並んでいたが、シネマコンプレックス（複合映画館）の拡大などに伴って次々に閉館。中洲大洋が地区唯一の映画館となっていた。

筑豊地区

JR日田彦山線BRT、初日408人利用 鉄道時代の3倍超「おおむね順調」

JR日田彦山線で8月28日に開業したバス高速輸送システム（BRT）について、JR九州は30日、初日の利用者数（速報値）が408人だったと明らかにした。開業記念で多くの住民や乗り物ファンが乗った影響もあり、鉄道時代の1キロ当たりの1日平均通過人数約130人や、豪雨被害による不通に伴う代行バス時代の1日平均利用者数約60人を大幅に上回った。

BRTでは駅数を鉄道時代の3倍に増やし、通学時間帯などに高校周辺を走るルートも設定。古宮社長は「意見を聞きながら、より利用しやすいダイヤにしていこう」と述べた。

カノアラウレアーズ福岡と直方市が協定 「バレーボールのまち」復活目指す

福智町に本拠を置くバレーボールの女子プロチーム「カノアラウレアーズ福岡」と直方市がフレンドリータウン協定を結んだ。互いの交流を通じて地域やスポーツの振興、競技者の育成につなげることを目指すほか、選手の雇用やスポンサーの獲得で市内企業の協力を得られるよう市が後押しする。

自治体との同協定の締結は田川、行橋両市に続いて3例目。8月22日に直方市役所で締結式があり、チームを運営する一般社団法人「カノアスポーツ振興会」の代表理事も務める森田亜貴斗監督（40）と熊本比奈主将（27）＝朝倉市出身＝らが出席。大塚進弘市長と協定書を交わした。

チームは県内で初めてバレーボールのVリーグ女子3部（V3）に2023～24年シーズンから参戦する。11月25日の開幕に向け、森田監督は「プロは勝つことが地域への恩返し。V3の優勝トロフィーを筑豊に持って帰りたい」と大きな目標を掲げた。

飯塚市立病院にヘリポート完成 筑豊地区の病院で2カ所目

飯塚市弁分の飯塚市立病院にヘリポートが完成し、同病院で9月1日、竣工式があった。筑豊地区の病院にヘリポートが整備されるのは2カ所目。地域の救命率向上を目指す。

ヘリポートは、管理棟南側の職員用駐車場を改装して造られた。延べ床面積約2千平方メートルの敷地中央に、15メートル四方の緊急離着陸場が設けられ、防音、防振のためにフェンスも設置された。総事業費は約820万円。

同病院は手術や入院が必要な患者を受け入れる

「2次救急医療機関」。筑豊地区には2次救急では対応できない重篤患者を受け入れる「3次救急医療機関」は飯塚病院（同市芳雄町）しかなく、受け入れができない場合は、福岡市や北九州市への病院へ搬送しなければならない。

そういった遠方の病院への搬送は道路状況などで1時間以上かかることもある。そこで今回、救命率を上げるためにドクターヘリが離着陸できるヘリポートを整備した。福岡や北九州までは10分程度で搬送できる。また、災害発生時には防災ヘリの発着にも活用していくという。

「10山」しよう！香春町で山頂スタンプラリー 10月1日から

香春町内の10カ所の低山を巡る「デジタルスタンプラリー香春10山」（同町観光協会主催）が10月1日から開かれる。各山頂でスマートフォンを通してもらえるスタンプを全て集めた先着500人に踏破認定のグッズや地元の道の駅で使えるクーポン千円分などが贈られる。期間は来年1月末まで。

スタンプラリーはスマホに専用のアプリをダウンロードし、山頂でそのアプリを開くと自動的にスタンプが付与される仕組み。イベントは登山をきっかけに香春町のことを知ってもらおうと昨年初めて企画。想定を大幅に上回る約千人が県外を含めて参加するなど好評だったことから今年も開催する。

妊産婦の心身をサポート

飯塚市が産学官連携モデル事業、九州では唯一の参加

飯塚市は、科学技術を活用し、妊婦や子育て中の女性をサポートする産学官連携のモデル事業に参加すると発表した。出産、育児に必要な心身の健康につながる運動と、子育てに関する相談が同時にできる交流の場を「オンライン」と「対面」で提供する。将来的にはビジネス化を目指すという。

モデル事業は、科学技術イノベーション実現に向けた内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の取り組みで、5カ年計画。全国12市町がモデル地域となり、飯塚市は九州で唯一の参加となる。

妊娠16週以降の安定期から産後2年程度の女性が対象で、参加費は「オンライン」（週2回まで）と「対面」合わせて月550円（9、10月は無料）。市のホームページから応募できる。

8月30日、市と協定を締結した「つくばウエルネスリサーチ」社長で、SIPのプログラムディレクターを務める久野譜也さんは「社会の子育て家庭への寛容性向上に向けても、飯塚市の特性を生かしながら何ができるか考えていきたい」と話した。

筑後地区

うきは市にマリオット開業、 飲食店やタクシークーポン配布

うきは市浮羽町にある「道の駅うきは」に隣接して、米ホテル大手マリオット・インターナショナルの宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・福岡うきは」が8月31日、開業した。同市の高木典雄市長は「7月の記録的大雨で、うきは市も甚大な被害を受けた。復興の励みとなるよう、マリオットが大きく羽ばたいてほしい」と期待を込めた。

マリオット・インターナショナルと積水ハウス(大阪市)が地域創生事業として進める「Trip Base(トリップベース)道の駅プロジェクト」の一環。ホテルを拠点に地域を周遊することを目指しており、館内にレストランはなく、客室に浴槽もない。

オープニングセレモニーであいさつに立った高木市長は開業について「長年の悲願だった」と振り返った。5年前、県庁での説明会で「地域の知られざる魅力を渡り歩く旅の拠点となるホテル」という事業コンセプトを聞いた高木市長は「うきはは以外ありえない」と思ったという。「フルーツ狩りや温泉も楽しめ、風光明媚な自然も残る。ぜひ国内外から多くの人が訪れてもらえれば」

うきは市は9月1日から、市内の宿泊施設利用者に、飲食店やタクシーなどで使える1700円分のクーポンも配布。温泉や飲食店などに周遊効果が波及することを期待する。

城島ふれあいセンターが1年ぶり宿泊再開 改装終了、格安の1泊1000円

天文台を備える久留米市城島町の市城島ふれあいセンターの改装が終了し、1年ぶりに宿泊を再開した。シーツ代と宿泊税込みでも千円ほどと格安で泊まれる。市は研修や合宿などの利用を呼びかけながら、町に足を運んでもらうための活用策を探っている。

農家の人材確保策など福岡市の学生が提案 うきは市で農業体験

うきは市と人材育成などの包括連携協定を結んでいる中村学園大(福岡市)の学生3人が8月25日、うきは市内でのインターンシップ(就業体験)を基に、市職員に施策を提案した。

フード・マネジメント学科3年の中山りん花さん(21)、山下晴華さん(20)、若杉真衣さん(20)の3人で、5日間のインターンシップで農業の現場を訪れた。柿農家では農業の面白さとともに家族経営の厳しさを聞き、うきはは6次産業化研究開発・事業化支援センターでは農産物加工に挑戦した。

3人はこの日の発表で「年間を通じて農家に派遣できる人材を正社員雇用する会社をつくる」「道の駅うきはの混雑状況を発信して、より立ち寄りやすくする」などのアイデアを披露した。若杉さんは「食について学んでいるが、雇用、販売など農業の難しさを知った。これからは積極的に学ぶ姿勢をもちたい」と話した。

豪雨被害の把握も、農産物生産状況の確認も みやま市が「ドローン隊」結成

空撮を活用した事務効率化とシティプロモーション事業の強化を目指し、みやま市は職員による「ドローン隊」を結成した。毎年のように発生する豪雨災害の被害を早急に把握できるため、復興に向けた国の補助金申請にかかる時間短縮などが期待される。

「ドローン隊」は建設、契約検査両課や山川支所など6部署の6人で8月25日に結成。隊員は昨年10月、民間団体の操縦技能証明を取得している。これまでに計7時間10分(14回)飛行させ、現場経験を積んだ上で発足させた。

市によると、久留米、大牟田、柳川市など筑後地区の他の自治体でもドローンの導入が進んでいる。みやま市は安全確保のため、技能証明所持者2人を含む3人一組で運用することにしている。

「トマトのてるちゃん」野菜ソムリエ日本一に 筑後市の生産者・貝田さん

筑後市のトマト農家で野菜ソムリエプロの貝田輝子さん(64)が、第12回野菜ソムリエアワード(日本野菜ソムリエ協会主催)の個人部門で最高賞の金賞を受賞。全国に約7万人いるとされる野菜ソムリエの日本一に輝いた。「トマトのてるちゃん」の愛称で活動する貝田さんは「これを励みに、筑後の野菜や果物のおいしさをもっと訴えていきたい」と話している。

アワードは年1回、野菜ソムリエが活動内容や実績を発表する場。個人とグループの2部門があり、個人部門は6月の1次選考(動画)で11人に絞られ、8月に東京で開かれた最終選考(プレゼンテーション)で金・銀・銅賞が決まった。

貝田さんは、新型コロナ禍で料理教室や講座が開けなかった頃、生産者としてできることを模索して行き着いた「ベジフルフラワー」への挑戦を紹介。野菜・果物をブーケや花束にするアートだ。愛情を込めて育てても必ず生まれる規格外の野菜に、活躍の場を与えられると考えた。

「生産者だから分かる野菜の命の大切さを伝えたい」。プレゼンでは筑後弁を交えて熱く訴え、最高賞を射止めた。



福岡地区

宗像大社神宝館

〒811-3505 宗像市田島2331 ☎0940-62-1311

海の道むなかた館

〒811-3504 宗像市深田588 ☎0940-62-2600

宗像大社は日本神話に登場する日本最古の神社の一つで、御祭神は天照大神の三女神で沖津宮、中津宮、辺津宮にそれぞれ祀られ、この三宮を総称して宗像大社という。2017年7月12日、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群はユネスコの世界遺産条約に

基づき、顕著な普遍的価値（国家間の境界を超えた価値があり、人類全体にとって将来世代にわたり重要なもの）があるとして、8つの構成資産により世界遺産に登録された。

神宝館は、1954年～71年までの沖ノ島学術調査で発掘された沖ノ島神宝（約8万点の国宝）を中心に、宗像大社に伝承されてきた古文書・美術工芸品（重要文化財）などが所蔵展示するために、1980年に竣工した三階建ての博物館である。沖ノ島での国家祭祀で捧げられた神宝は、4～9世紀に出土したものが多く、歴史的価値もさることながら、一つ一つの意匠など細部まで調製され、古代の人々の技術、文化、敬神の心を感じ取ることができる。中でも宝飾類の品々は発掘当時の調査員たちも美しさのあまり驚愕したとのことで、今も人の手が加えられることなく、そのままの状態で所蔵されている。



【国宝】ガラス製小玉

2012年に開館した海の道むなかた館は、世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設で宗像の原始時代から近世までの歴史を学ぶことができる。特別展示室には重要文化財である田熊石畑遺跡から出土した青銅器などが展示されている。

※画像および資料提供：宗像大社

【アクセス】 JR鹿児島本線「東郷駅」下車、西鉄バス「東郷駅前」より「宗像大社前」バス停下車

（須田 敏）



筑豊地区

旧伊藤伝右衛門邸

〒820-0066 飯塚市幸袋300番地 ☎0948-22-9700

明治、大正、昭和にかけて筑豊地域は石炭エネルギー供給日本一の場所であった。当時「筑豊御三家」と呼ばれた麻生、貝島、安川に続いたのが炭鉱王、伊藤伝右衛門である。

最初の妻を失った伝右衛門は、1911（明治44）年に伯爵柳原前光の娘・燐子（白蓮）を迎え入れる。50歳にして、25歳の若き花嫁を迎えることになった伝右衛門が、日本建築の粋を集めて

改築したのが、この「旧伊藤伝右衛門邸」である。

敷地面積約7570平方メートル、建物延床面積約1020平方メートルの邸内は、回遊式の日本庭園に面して4つの棟と3つの土蔵からなり、まるで御殿のようなものである。またどの部屋も細部にまでこだわって華麗に仕上げられており、特に白蓮の居室（2階）は、日本庭園を一望できる見晴らしの良い部屋で、銀箔で作られた押入れや、水上泰生が描いた蝶をあしらった天袋など様々な意匠がこらされていて、豪華絢爛な造りとなっている。

伝右衛門と白蓮は共に約10年間の時をこの地で過ごし、波乱万丈の恋物語を展開。白蓮は新聞紙上で絶縁状を伝右衛門に突きつけ、その後この邸に戻ることはなかったが、部屋はそのまま残されており、当時の様子を伺い知ることができる。令和2年、国の重要文化財（建造物）に指定された。

【アクセス】 西鉄バス「幸袋・旧伊藤伝右衛門邸前」下車 徒歩2分



回遊式日本庭園

※画像および資料提供：飯塚市

（福山 祐子）



今月は「郷土の先達」ゆかりの博物館のほか、北九州から千葉への大移動などを取り上げる。

(牛島 康明)

アドミュージアム東京



アドミュージアム入口



江戸時代展示コーナー

- 所** 東京都港区東新橋1-8-2 カレッタ汐留地下2階
☎ 03-6218-2500
交 JR新橋駅から徒歩5分、都営大江戸線汐留駅から徒歩2分、東京メトロ銀座線新橋駅から徒歩6分
入 無料、オンラインで日時指定予約、日・月曜日休館

吉田秀雄は小倉生まれで、電通の社長を務め「広告の鬼」と呼ばれた人物。「郷土の先達」にも掲載された。

当館は「(公財)吉田秀雄記念事業財団」によって運営されている。収蔵資料は、広告の社会的・文化的価値への理解を深めるためのものが集められており、江戸時代から現代まで約33万点を数える。ライブラリーでは広告とマーケティング関連書籍の閲覧、広告作品のデジタルアーカイブを検索・閲覧することができる。

常設展示の「ニッポン広告史」では、江戸時代から現代までの、広告のための作品を現物やデジタルで見ることができる。江戸時代の美人絵・名所絵などの錦絵、明治時代の商品看板・新聞広告、昭和時代のテレビ創世期からのCMなどを興味深く楽しめる。

* 画像および資料提供: アドミュージアム東京



祭りで賑わう

千葉県君津市

官営八幡製鐵所は1901(明治34)年に、北九州八幡の地で創業。その後身の八幡製鐵(現日本製鉄)が、漁業と農業の町であった千葉県君津町に、君津製鐵所(現東日本製鐵所君津地区)を1965(昭和40)年に開設。このため北九州から君津へ、社員と家族合わせて2万人もの人々が移住し、当時マスコミは、民族大移動と報道した。新設された大和田小学校の在校生1135人の内、九州からの転校生は800人にもなった。町内には豚骨ラーメンや北九州おでんの店が開店し、福岡の言葉が飛び交った。君津町の人口は増え、1971年には君津市となった。周西公民館は、市制50周年記念事業として、当時のことを108人に聞き取り『すさい・まちの変化【100の記憶】』として昨年発行した。

* 画像提供: 周西公民館

- 所** 千葉県君津市
交 JR内房線君津駅

林芙美子と青木繁の房総



青木繁記念碑(布良海岸)



現在のJR三門駅

明治洋画壇の鬼才青木繁は、館山市布良海岸において、日本に初めて日本人の油絵が生まれたと評された『海の幸』を、魂をこめて描ききった。青木の生涯を描いた林芙美子の小説『夜猿』には、『海の幸』について「余分なものは少しもつけ加えないで人間を中心に、赤い雲と、濃青の海との三つの諧調は、その画面の外にまで働くものの喜びの歌をかなでさせていた」という一節がある。

林の代表作であり出世作でもある『放浪記』に、長者町(現いすみ市)が描かれている。小さなバスケットに一切をたくした芙美子は、外房線の興津

行の列車で三門駅に降りた。この時の気持ちを「このまま消えてなくなりたい今の心に、じっと色々な思いにむせている事がたまらなくなり」と描いている。ここで二日を過ぎて再び東京のカフェの女給に戻った。

- 所** 館山市布良1256青木繁記念碑
☎ 0470-28-5063(青木繁「海の幸」記念館を保存する会)
交 JR内房線「館山駅」よりJRバス関東「安房白浜」行き乗車、「布良崎神社」下車

* 画像提供: 青木繁「海の幸」記念館を保存する会

令和五年度 第二回 オリエンテーション報告

新入会員向け第二回オリエンテーションが、未来を創る会と事務局との共同企画により、八月三十日（水）十八時半から、都道府県会館地下一階の上海大飯店で開催されました。

対象者は令和二年四月以降の入会者で、三十二名が参加。第一回と合わせて六十四名の参加となりました。

内訳は男性二十六名、女性六名で、出身地区別では北九州五名、福岡十一名、筑後七名、筑豊六名、その他三名でした。

今回の趣旨は、県人会の活動紹介を行い、今後積極的に委員会や同好会に参加していただくこと。そのため、委員会・同好会の関係者（既存会員）十四名および事務局も加わり、総勢四十六名での開催となりました。

古賀信行会長のご挨拶に続いて、県人会の組織や行事紹介および各委員会・同好会の活動報告が行われ、皆さん熱心に聞き入っていました。既に四名の方から委員会への参加の打診があったとのこと。



古賀会長のご挨拶

さらに新会員の自己紹介が行われ、個人的かつ興味深い話が連続



し、会員の多様性がうかがわれました。トリを飾ったのは、ヴァイオリニストの桜井雅彦さん。即興で演奏を行っていただき、参加者の皆さんが聴き惚れていました。こうして新たな出会いを楽しんでいたなかから、二十一時すぎに記念撮影をして散会しました。

第2回参加者 新入会員

- | | |
|-------------|-------|
| 荒木 俊幸 | 飯野 浩昭 |
| 伊東 美晃 | 稲田 潤 |
| 内田 直人 | 大隈 勝也 |
| 鬼丸 勝 | 岡村 優香 |
| 喜久野俊和 | 菊原 光一 |
| 國松 伸一 | 久保田 綾 |
| 熊抱 裕子 | 古賀 芳和 |
| 桜井 雅彦 | 杉野 宣雄 |
| 曾山 茂志 | 高橋 秀明 |
| 立山 浩二 | 田中 達也 |
| 田中 秀樹 | 田中 正光 |
| 田中 三恵 | 仲光 和之 |
| 中村 明記 | 中村 真一 |
| 中村 祐輝 | 野口佳代子 |
| 原 真善美 | 平木 俊治 |
| 廣瀬 剛 | 藤原 誠二 |
| 委員会・同好会・事務局 | |
| 古賀 信行 | 鬼塚 信子 |
| 瀬戸 渡 | 三喜 俊典 |
| 占部 正尚 | 小倉 文子 |
| 片山 紀雄 | 高木 裕康 |
| 田島 登吾 | 土井 健 |
| 友田 公治 | 増野 千晶 |
| 松行 俊二 | 與小田 健 |



総勢46名全員で



桜井雅彦さんによるミニリサイタル

報告 未来を創る会委員長
占部 正尚

萱原裕子 写真展 森からの光

会員で写真家の萱原裕子様のご個展が開催されます。

(展示作品：カラー34点)

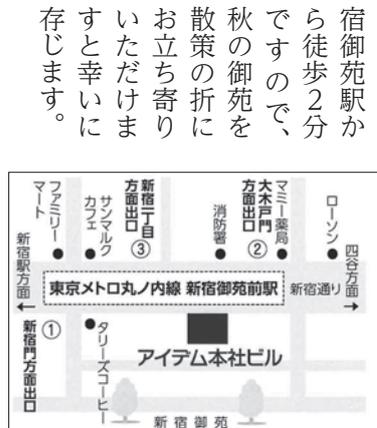
◆日時 10月19日(木)～25日(水)
10時～18時

◆場所 (日曜日休館、最終日は15時まで)
アイデムフォトギャラリー

「シリウス」
新宿区新宿1-4-10
アイデム本社ビル2階
TEL 03-3350-1211
東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅
新宿門方面出口2分、大木戸門方面出口2分
新宿一丁目方面出口2分
(エレベーター有)

私は久留米に生まれ、高校時代はよく近くの筑後川や篠山城跡を友人と散策しました。おおらかにゆったりと流れ、筑後平野を豊かに潤し、命を生み出す筑後川は私の原点です。

若いころに見た映像で、私は水の惑星であるこの地球の美しさに、そしてそこに生かされていることの奇跡にとても感動しました。しかし残念ながら海洋汚染は加速し、自然環境は悪化するという悲しい現実があります。



海に注ぐ川があり、その源流に森があり、そこに生まれる霧からの一滴の雫が樹々を育み、光を浴びて、森は豊かに成長します。森に生きる動物や鳥、昆虫たちの共生をイメージし、里山の生き物たちも一緒に、水の豊かな森を表現いたしました。カメラを通して樹や花、命あるものと向き合う中で愛おしさが募り、慈しみの光に包まれていることに感謝の気持ちがあふれます。

自然破壊・自然災害が進む現実がある反面、今ある豊かな存在にも目を向け、大切に守り、愛しみ続けたいと思います。

個展を開催しますシリウスギャラリーは、新宿御苑駅から徒歩2分ですので、秋の御苑を散策の折にお立ち寄りいただけますと幸いです。

同窓会協力委員会

担当副会長 三喜 俊典(朝倉)
委員長 中村 俊雄(三池)
委員 員 (以下順不同)

- 伊東 美晃(明善)
- 永翁 利成(福翔)
- 伊藤 昌男(小倉)
- 永田 良二(小倉)
- 結城 謙吾(東筑)
- 原田耕太郎(東筑)
- 原 忠雄(戸畑工)
- 高木 信明(修猷館)
- 三枝 美鈴(福岡中央)
- 篠原 政美(八幡)
- 石橋 昌祐(八幡)
- 小田 耕司(若松)
- 松隈 大作(糸島)
- 肥土 礼二(田川)
- 占部 正尚(福岡)
- 金城 琢磨(福岡)
- 村上 文啓(八女)
- 中里由美子(久留米)
- 長野 弘孝(育徳館)
- 土井 健(城南)
- 白谷 政則(伝習館)
- 平木 俊治(朝倉)
- 平野 政浩(鞍手)
- 小磯 道夫(鞍手)
- 眞崎 孝広(三池)
- 池田 隆之(筑紫丘)

2023年度初の委員会を開催

残暑厳しき8月下旬、同窓会協力委員会が21名の委員参集のもと4年ぶりに開催されました。

冒頭に担当副会長の三喜さんよりご挨拶いただき、やっとこぎ着けた委員会の再開を喜び、委員の皆さんにはあらためて協力をお願いするかとちで会がスタートしました。

まずは懸案となっていた不在のままの当会副委員長に、明善高校の伊東美晃委員を推薦、委員の皆さんの賛同を得て承認されました。

つぎにイベント開催についてはあらかじめ「就活を応援する会」から開催することで委員会のコンセンサスが得られていたので、イベントを具体的に推進するための小委員会を立ち上げました。こちらは事前に内諾を得ていた小倉高校の永田良二委員を実行委員長に選任、また中心となつて活動いただく幹事校として小倉高校、東筑高校、修猷館高校、田川高校、明善高校、福岡高校、筑紫丘高校、以上計7校の委員に加えて、インターネットの活用にも明るい城南高校の土井健委員にアドバイザーとして参画していただくこととなりました。

その後は今後の活動の方向性について意見交換が行われ、①若手会員が減少し、活動にも支障をきたしている。もっと学生を引き込もう、②一方通行の講演会方式ではなく双方向のブース方式で学生と対話、③県人会の公的組織なので活動する際は就職協定など留意等々。ほかにも貴重な意見もあり、熱気にあふれる委員会となりました。また今後の活動にもご期待ください。

中村 俊雄(三池)

物産展情報

大九州展

会期 10月4日(水)～10月10日(火)
10時～19時 最終日～17時
会場 高崎高島屋 6階催会場
12社出展予定
高崎市旭町45

JR「高崎駅」西口5分
027-327-1111

第4回 大福岡展

会期 10月12日(木)～10月17日(火)
10時～19時 最終日～16時
会場 東武宇都宮百貨店
5階イベントプラザ
50社出展予定
宇都宮市宮園町5-4

東武宇都宮線「宇都宮駅」直結
JR「宇都宮駅」西口より
タクシー5分
028-636-2211

福岡物産展

会期 10月12日(木)～10月18日(水)
10時～20時
会場 東急百貨店 たまプラーザ店
地階催事場 17社出展予定
横浜市青葉区美しが丘1-7

東急「たまプラーザ駅」北口1分
045-903-2211

九州・沖縄食彩典

会期 ①10月6日(金)～10月11日(水)
10時～20時 最終日～17時
1社出展予定

②10月13日(金)～10月18日(水)
10時～20時 最終日～17時
6社出展予定

会場 東急百貨店 吉祥寺店
8階催物場
武蔵野市吉祥寺本町2-3-1

JR・京王「吉祥寺駅」西口7分
0422-215111

福岡うまかもん市

会期 10月18日(水)～10月24日(火)
10時半～19時半
会場 高島屋日本橋店 地下催事場
8社出展予定
中央区日本橋2-4-1
銀座・東西線「日本橋駅」直結
03-3211-4111

「103通吏門の会」次回案内

日時 11月23日(木・祝日)
集合 9時45分
行先 西武池袋線飯能駅改札
↓多摩主山(271m)
所要時間 5時間
雨天中止(前日17時まで連絡)
世話人 牛島康明
Email: aki.0728@outlook.jp

同好会だより

第99回皇居を走ろう!!同好会福岡

2023年第99回「皇居を走ろう!!同好会福岡」は、9月9日(土)午後5時より、参加者21名が平川門側に集合して、まずは開催挨拶、自己紹介、恒例のラジオ体操、集合写真、その後は各自自由に行動。前日の台風が嘘のような天気になり、楽しい皇居ランニングでした。

私は今回で10回目の参加です。最年長をキープし、皇居周りの景色を堪能し、季節を感じながら歩いています。毎回新しい発見があります。警備のお巡りさんに「お疲れさま」と声をかけるのも楽しみにしています。

皇居ランニング後は、希望者(19名)による懇親会が開催されました。来月の100回記念に向かって、意気込みのある力強い乾杯の音頭で始まりました。懇親会でよくお世話になる「おせっかい屋」は鳥料理が新鮮で美味しいですよ。冬は鍋、今はカレーが絶品です。盛り上がりつつあるさくなる私たちに最高の気配りで接してくれます。

毎回、初参加者がいらっしやいます。ネットでたまたま見付けたという人、大会を目指して真剣に調整する人、私みたいにひたすら歩く人。どなたでも、いつでも大歓迎です。楽しい同郷の仲間と、あるいは健

康維持や体力強化のため、ウォーキング&ランの仲間と一緒に、気持ちの良い汗を流しませんか?皆様のご参加をお待ちしています。



(報告者 中里 由美子)

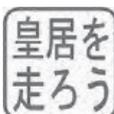
次回 第100回開催連絡
日時:令和5年10月7日(土)
午前10時半

集合:皇居南端「桜田門」健康マラソン 時計塔付近
着替:「ラフイネ」ランニングスタイルNeo店が便利です(800円 電子決済のみ)
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

東京ミッドタウン日比谷 MBI F
参加費:無料
懇親会は別途実費負担

申込み・お問い合わせ先
世話人 土井・糸山・田中
090-7007-3627 (携帯)

同好会公式サイト立ち上げました。
https://it.link/kokyorun2015fukuoka
YouTubeサイトもご覧いただけます。
QRコード読み取りにて閲覧可能です。



お茶にせんね



農園生活

ことはじめ

原 沢 由 美

元々、ドイツ語で小さな庭を意味する「クラインガルテン」は、ドイツでは二〇〇年の歴史を持つ貸農園のシステムです。日本でもこれに倣い、泊まれる小屋を併設した、一〇〇坪前後を一区画とした滞在型貸農園が、全国にいくつがあります。

草花やハーブなどのプランター栽培を始めて数年が経ち、地植えで野菜や植物を育てたいという気持ちが強くなってきました。都心では市民農園のようなものは見つからず、たどり着いたのが千葉県のクラインガルテンでした。ちょうど次年度の借り手を募集しており、この春から憧れの農園生活が始まりました。

いざ、まっさらな畑を前にしたときには、何から始めたらよいのかわからず、最初の週は土を掘り返してクタクタになり帰宅しました。

初心者向けの本を買い、ネットで検索し、YouTubeで勉強し、週末に実践の繰返しです。悪戦苦闘しながらも、六月初旬にじゃがいも、

その後はトマト、ナス、ピーマン、シシトウ、万願寺とうがらし、とうもろこし、枝豆と順調に夏野菜が収穫できるようになりました。西瓜やまくわうりも栽培できたため、フルーツ代わりとなりました。

今では金曜日に仕事を終え、夕日を見ながら畑に向かう車内が至福の時間です。畑を耕し、種を撒き、苗を植えて、雑草をとり、水をまき、実ができたら収穫。食べながら次の栽培のために種を採取して来年に備えます。

流通網が発達している現在は、たくさん種類の食材が手に入ります。しかし、昔はこうやってその地でできたもので工夫して、食事をしていたんだろうなと少し原点に帰ったような気になりました。ただきものの梅と、畑に勝手に生えてくる赤しそで梅干しを作りながら、食材をムダにしない工夫はよく考えられたことだと改めて感じました。週末だけです農園生活を始めてみて、新鮮な野菜が食べられることに



(カット
瀬知エリカ)

1964年 山口県生まれ
1983年 福岡県立修猷館高等学校卒業
1987年 東京女子大学史学部卒業
現 在 一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会

感謝するとともに、廃棄ロスが出ないよう努めるようになりました。
農作業のおかげで足腰が強くなり、野菜を消化するため外食が減りダイエット効果もあります。困ったことは、とにかく陽に焼けることと、食べきれない野菜の引取り手を探す苦労でしょうか。幼かったころのように虫の声を聴き、星空を眺める生活が戻ってきました。
大好きな里芋は背丈を超えるような大きな葉となり秋の収穫を待っています。秋の夜長は冬野菜の勉強となりそうです。

◆入会者◆（九月六日現在）

秋澤 文美	飯塚市	田中 寛利
秋光 信佳	飯塚市	田中 寛利
鬼丸 勝	みやま市	榎 一茶
萱原 裕	久留米市	瀬戸 渡
川口 雅史	飯塚市	中西 佳子
佐取 祐多	飯塚市	中西 朋
塩川 義憲	飯塚市	中西 佳子
柴田 芳彰	飯塚市	中西 佳子
須郷 知徳	飯塚市	出光 正道
武市 茂子	大牟田市	高井良副市長
田中恵美子	飯塚市	田中 達也
田中 朋	福岡市	田島 登吾
永田 良二	北九州市	田島 登吾
中村 祐輝	福岡市	田島 登吾
花田扶弘美	飯塚市	田島 登吾
森田 晴子	柳川市	田島 登吾

紹介者

◆訃報◆



東京福岡県人会の男性最高齢会員 宮川一二氏が令和五年八月二十一日、逝去されました（享年一〇三歳）。八女市黒木町ご出身で、中学修猷館をご卒業。会報『東京と福岡』が届くことを毎月楽しみにされていたとのこと。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。東京福岡県人会理事 大隈 勝也

今月の表紙

八女茶発祥600年！



八女市長
三田村 統之

東京福岡県人会の皆様におかれましては、日頃より多大なるご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

表紙の人物は室町時代に学僧であった栄林周瑞禅師です。明時代の中国から茶の種子を持ち帰り、鹿子尾村の庄屋、松尾太郎五郎久家氏にその種子を与え、栽培法、製茶法等を伝授したといわれており、八女茶として発展し今年で600年を迎えます。

毎年、八十八夜（5月2日）に師の不滅の遺徳をたたえしのび、併せて八女茶の弥栄を祈念することを目的として「献茶祭」を開催しています。

脈々と受け継がれてきた八女茶は今年8月、第77回全国茶品評会において「玉露の部」で1等1席（農林水産大臣賞）及び産地賞に輝きました。産地賞は23年連続の受賞であり、生産者の皆様が伝統を守りながらも日々研鑽を重ねてこられた結果だと感じております。

10月28日には、先人達への感謝と未来の100年に繋がるお茶づくりの契機として「福岡の八女茶発祥600年祭記念式典」を開催します。併せて「全国お茶まつり福岡大会式典」も本市で開催されることから、令和5年度を八女茶の年と位置付け、年間を通して八女茶の素晴らしさや歴史・伝統を国内外へ発信しているところです。28、29日は福岡市（福岡大名ガーデンシティ・大濠テラス）や北九州市（小倉城庭園・リバーウォーク北九州）においてもお茶まつりのイベントが開催されますのでぜひお越しください。

また、八女茶の普及やおもてなしの心、その他茶の文化の醸成を図るとともに、心の癒やしや健康的な生活の向上、地域経済の活性化等を目的として「八女茶でまちづくり条例」を制定いたしました。これからも、関係機関の皆様とともに産地が一丸となった取り組みを進めてまいります。

八女茶をはじめ、先人たちからの歴史、文化、産業を次世代の子どもたちへ伝えるとともに、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めています。今後とも八女市を応援いただきますようお願い申し上げます。

◆インタビュー後記◆

今年、米寿を迎えられてもなお、さまざまな方面で、精力的にご活躍中の下河秀行さん。この精神的な若々しさは、現在お住まいの街や郷土に対する深い愛情あつてのことと、感銘を受けました。今回、下河さんと接する中で、私の好きな詩人サミュエル・ウルマンの『青春の詩』の一節が思い浮かびました。「青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。逞しき意志、優れた創造力、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春と言うのだ。年を重ねるだけで人は老いない」私も強い心を持って、これからも青春を謳歌したいと思えます。大隈 勝也

◆編集後記◆

コロナ以前の日常が戻り、マスク姿の人が目立って少なくなった。しかし、熱帯かと思える暑さが続き、往生する日々が続いている。

「郷土の先達」は西鉄ライオンズの黄金期に活躍した河野昭修内野手を牛島編集長が取り上げた。西鉄ライオンズも、もはや伝説上の球団となったのか、河野選手を知らない人が増えてきて寂しい気がしている。

「スポットライト」は今年米寿を迎えられ、益々元気一杯の下河秀行さんを大隈事務局員がインタビューした。柳川市の観光大使、地元での街づくりボランティア活動、情報紙の発行など各方面で活躍されている。この辺りに若さを保たれている秘訣があるのかも知れない。

「あのひとこのひと」は下園博也さんと國松伸一さんの登場。現役バリバリ世代のお二人に会の活動に参加いただき、今後、大いに期待しています。

「お茶にせんね」は原沢由美さんに寄稿いただいた。最近、野菜作りにはまり、腕も良いらしく食べきれない野菜に困まれ嬉しい悲鳴をあげておられる由。ゴルフもお上手で多芸の人である。

田島 登吾（県人会事務局長）

「東京と福岡」の著作権は「東京福岡県人会」または「原著者」に帰属します。無断複写転載を厳禁します。

「東京と福岡」についての意見は事務局まで。E-mail: info@fukuoka-kenjinkai.jp

〈表紙題字 緒方竹虎筆〉

まさに、夢を描こう。



西鉄の住宅型有料老人ホーム



サンカルナ香椎照葉

先進的で美しい街、アイランドシティ。

都心に近く自然に囲まれたこの地に、サンカルナ香椎照葉があります。

東京福岡県人会の皆様へ。親御様やご自身の将来について考えてみませんか。

福岡でのあんしんの生活を、全力でサポートいたします。



8階から望むアイランドシティ中央公園

入居申込 受付中

建物内モデルルーム
公開中

昼食付見学会開催中!

※「新型コロナウイルス感染症」の感染状況により、掲載の内容に相違が生じる場合がございます。

空港からの好アクセス

福岡都市高速道路が延伸し、アイランドシティ出入口が新設されたことで「サンカルナ香椎照葉」までのアクセスがより便利になりました。

福岡空港より車で約**15分**



ご入居者様特典あり

街区内にあるスーパーマーケットをはじめご入居者様には割引特典などがございます。



メニューが豊富なレストラン

旬な食材を使った、彩り豊かな美味しいお食事です。



花見御膳

多彩なイベントやサークル活動

ご入居者様同士・スタッフとのふれあいで楽しみのある毎日を。



Music Office SAKAKI 主催

安心の看護・介護体制

24時間介護スタッフ常駐。生活支援サービスも利用できます。



イメージ

◎ ご入居に関するお問い合わせ [サンカルナ香椎照葉]

0120-428-105 [営業時間 10:00~17:00]

◎ ホームページ

サンカルナ香椎照葉 検索



サンカルナは
おかげさまで20周年



【事業主体】西日本鉄道株式会社

福岡市博多区博多駅前
三丁目5番7号

【運営主体】西鉄ケアサービス株式会社

[施設概要] ◆所在地:福岡市東区香椎照葉5丁目1番15 ◆交通:西鉄バス「香椎照葉5丁目」バス停(徒歩約2分) ◆構造・規模:鉄筋コンクリート造 地上12階建 ◆土地建物の権利形態:事業主体所有 ◆居室数:一般居室136室(39.19㎡~73.22㎡)、介護専用居室24室(18.0㎡~19.52㎡) 竣工日:2019年8月 ◆類型:住宅型有料老人ホーム居住の権利形態 利用権方式 ◆利用料の支払い方式:選択方式 ◆一時金:入居時の年齢・支払い方式により異なる ◆2人入居時の加算一時金:入居時の年齢・支払い方式により異なる ◆介護保険:在宅サービス利用可 ◆介護専用居室区分:全室個室 ◆返還制度:有 ◆一般居室月額利用料(税込):管理費82,500円※2人入居の場合137,500円(管理費は共用施設の水道光熱費、維持管理費、運営管理に関わる人件費、業務委託費、備品・消耗品などに要する費用に充当します)、生活支援サービス費:28,600円(月額払い選択の場合のみ)/1名、お食事代:72,270円(1名あたり1日3食・30日の場合) ※レストラン安定運営のため基本料金 20,000円(1名あたり・税抜き)を最低料金としてご負担いただきます ◆介護専用居室月額利用料(1名・税込):管理費 88,000円、生活支援サービス費:51,700円(月額払い選択の場合のみ) お食事代:72,270円(1日3食・30日の場合) 入居時の要件:入居時自立 ◆介護の状態による住戸の住み替えの可能性について:住み替えの可能性・有、当初入居した住戸の権利の変更または消滅の可能性・有、住み替えによる住戸面積の減少・有、住戸面積減少時の費用の調整・有、住み替え後の住戸の利用のための追加費用・無 ◆広告作成日:2023年9月 ※交通状況によって所要時間は異なります。 ※表示金額は、消費税込みの金額です。(レストラン安全運営のための基本料金を除く。)*掲載の写真は2019年10月・2021年5月・2021年7月に撮影したものです。

品質も、価格も、叶う家。

「日本の家は高すぎる」。その思いから家づくりにかかるコストを徹底的に削減することで、「高品質・適正価格」を追求してきました。

家の価格が下がれば、好きなことにお金が使えて、生活はもっと豊かになる。

長く快適に住める品質と、手に届きやすい価格を通じて、

住む人の人生をずっと支えていきたい、私たちはそう考えました。

建てて終わりではなく、建てたあとの幸せまでもつくれる住宅会社を目指して。

タマホームはこれからも、より良い家をより安く提供するための挑戦を続けていきます。



＼ 全国の店舗にてモデルハウスの見学会を開催中 ／



ご希望日時に予約来場いただくと、QUOカードを進呈しております。
この機会に「良質低価格」のモデルハウスを是非ご体感ください。

見学会詳細は左記のQRコードよりご確認ください。

おかげさまで、2020年度・注文住宅新設着工棟数が、全国3位となりました。

また、宮崎県・佐賀県・長崎県・大分県・香川県・山梨県の6県内におきましては、それぞれ1位となりました。

●2020年4月1日～2021年3月31日における確認申請棟数および(都市計画区域外)工事届棟数の合計数(株式会社マーケティングシステムズ調べ)

TamaHome®

タマホーム株式会社

本社 / 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目22-9 タマホーム本社ビル www.tamahome.jp
[建設業許可番号] 国土交通大臣許可(特-30) 第19013号(般-30) 第19013号 [宅建業免許番号] 国土交通大臣(4) 第6857号